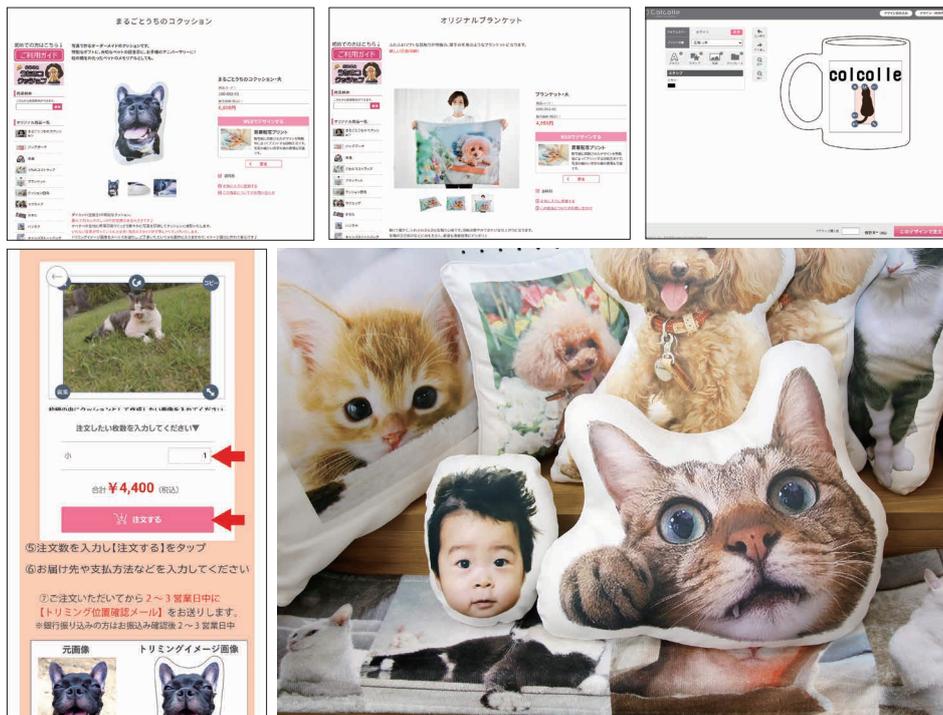


写真グッズとプリントデザイナーの 相性抜群。手間削減&ミス防止にも

プリントデザイナーは「カラコレ」の全商品注文ページに設置。同サイト内には、プリントデザイナーの使い方説明やアップロードする写真の注意点などが細かく記載されているのでわかりやすい。写真下が「まるごとうちのコクッション」の大（右）と小（左）。



東

日本大震災で多くの写真やフィルムが流失。その様子を心を痛めた大島幸子社長が2011年に創業したのが、(株)中部ダビングだ。思い出や記録を残すために、CDやDVDなどに映像や写真などをダビングするサービスが主力事業。その後、縁あって写真プリントの「パレットプラザ」を計7店舗FC展開。約3年前から同社FCのオリジナルサービスとして、「写真をグッズにする」商品を展開している。

そして2013年にそれらの写真グッズを製造する役割を担った(株)Colorsを創業。昨年6月にはオリジナル写真グッズを中心としたECサイト「カラコレ」をスタートした。

このサイトをオープンする際に導入されたのが、(株)システムグラフィのデザインシミュレーター「プリントデザイナー」だ。同社生

産部の杉本成氏は、

「店舗からの注文を製造する際は受注時にスタッフが写真の位置や注意事項などを注文書に書き込んで申し送りしてくれませんが、ネット注文だとそれが難しい。校正確認や写真位置調整のためのやりとりで手間がかかると予想できました。そのため、サイト立ち上げにはデザインシミュレーターが不可欠だと考えました」。

計画通り、やりとりの 手間削減に成功

(株)システムグラフィの「プリントデザイナー」は、デザインソフトを使わなくても、WEBサイト上で利用者自身が簡単にデザインを作り、仕上がりイメージまで確認できるもの。利用者が作ったデザインはベクターデータとして使えたり、配置された画像を高解像度のままダウンロードできるの



(株)Colorsの生産部スタッフ、杉本成氏。

で、そのままプリント可能。様々なグッズを自由に追加できるのも特長。導入することで、デザイン製作や校正確認にかかる手間や人件費を削減できる。

「プリントデザイナー」導入の決め手となったのは、「試しに触ってみると、とても操作がわかりやすかったため、即決しました。もちろん、料金面と操作しやすさのバランスがよかったことも魅力に感じた」と杉本氏。

同社ではネット注文の全てを「プリントデザイナー」を通して受注している。

